

**第3次伊勢崎市総合計画
序論、前期アクションプラン（素案）
パブリックコメント手続参考資料**

第3次伊勢崎市総合計画序論、前期アクションプラン（素案）概要

1 策定の趣旨及び経緯

本市は平成17年（2005年）に伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の4市町村の合併により誕生して以来、平成19年度（2007年度）から平成26年度（2014年度）を計画期間とする第1次総合計画、平成27年度（2015年度）から令和6年度（2024年度）を計画期間とする第2次総合計画に基づき市政運営を行ってきました。

この間、新型コロナウイルス感染症の流行やデジタル化の進展に伴う生活様式の変化をはじめ、豪雨や地震など大規模自然災害の発生による安心安全な暮らしに対する意識の高まりなど、本市を取り巻く社会情勢は急速に変化しており、その対応が求められています。

このような激動の時代の中で、これまでに経験のない状況においても、全ての市民が笑顔を咲かせ、活力ある未来を切り開いていける、持続可能な共生のまちを目指し、その実現に向けて既成概念にとらわれることなく常にスピード感を持って取組を推進していくための指針として、新たに第3次伊勢崎市総合計画（10年間：令和7年度から令和16年度まで）（以下「総合計画」という。）を策定します。

総合計画の策定に当たり、現行の第2次伊勢崎市総合計画の効果検証、統計調査により近隣自治体等との比較を行う定性・定量調査、各種分析によって本市の強み、弱みを整理し、また、市民アンケート調査、高校性・大学生アンケート調査、市長懇話会、中学生M i r a i ワークショップ、まちづくり市民ワークショップ、地区別市政懇談会、関係団体等ヒアリング等を通じて、市民の皆様の行政ニーズを把握するとともに、意見及び提案の聴取を行い、令和5年度及び令和6年度の2箇年をかけて策定を進めてきました。

2 計画の位置づけ

総合計画は、伊勢崎市の使命や存在意義、あるべき姿、未来像、行動指針、価値観を定め、この実現に向けて取り組む施策を一体的に示すとともに、それぞれの主体が共に理想とするまちをつくることを目指しています。また、行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画であり、分野ごとの計画や施策は、この計画に基づいて策定し、実施します。

3 総合計画の構成

総合計画は、次の構成イメージのとおり、策定の趣旨や本市の基本的な情報などを序論として冒頭部分に掲載するほか、長期ビジョン（基本構想）とアクションプランの2層で構成します。

このうち、今回のパブリックコメント手続は、序論と前期アクションプランを対象に実施するものです。長期ビジョン（基本構想）（資料1（参考資料部分）：P13～P19）については、令和6年1月22日から2月20日にパブリックコメント手続を実施済であるため、今回のパブリックコメント手続では対象外となります。

(1) 第1章 序論【資料1：P1～P12】

ア はじめに

総合計画の策定の趣旨、構成及び計画期間を掲載するものです。

イ いせさきってこんなまち

本市の基本的な情報などを掲載するものです。市の特徴的なスポットを示した「いせさきMAP」のように、地図やグラフ・表を用いるなど、市民の皆様の興味を引き、親しみやすいような構成としました。

(2) 第2章 長期ビジョン（基本構想）【資料1（参考資料部分）：P13～P19】

長期的な視点に立ってまちづくりを進めるための最高指針であり、伊勢崎市が社会において果たすべき使命、存在意義である「ミッション」、あるべき姿、未来像である「ビジョン」、まちづくりに際しての行動指針、価値観である「バリュー」を定めます。また、ビジョンにおいては、長期的な視点で目指す市の未来像として、「伊勢崎市将来ビジョン」を定めます。

(3) 第3章 前期アクションプラン【資料2】（P1～P156）

長期ビジョン（基本構想）で定める「伊勢崎市将来ビジョン」の実現に向けて、市全体で推進する具体的な方策をまとめた行動計画であり、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間の計画とします。

「地区別計画」、「重点プロジェクト」、「重点施策」の3つのアプローチにより、伊勢崎市将来ビジョン「えがお咲く未来へ 持続可能な共生都市 いせさき」を実現するための取組を推進していきます。

ア 地区別計画

合併前の市町村単位である伊勢崎、赤堀、東、境の4地区について、各地区が特色を生かして発展し相互に連携する「地域間の共生」を推進し、4地区が一体となった魅力的な伊勢崎市を目指すための計画です。

イ 重点プロジェクト

緊急性・重要性が高く、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間で優先して取り組むべき課題を、施策横断的に5つのプロジェクトとしてパッケージ化し、これらの解決に向けた取組を掲げるもので、これを「伊勢崎市版総合戦略」として位置付けます。

ウ 重点施策

長期ビジョン（基本構想）の方向性に沿った、市が重点的に推進すべき取組を、7つの政策に対して36の施策に整理し掲げるものです。

※計画全体のデザイン、レイアウト等については、計画内容の決定後、最終的な調整を行う予定です。

【第3次伊勢崎市総合計画 構成イメージ】

